

長久手市行政評価票

事業番号	22	事業の名称	セーフティステーション・防犯パトロール事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全課

事業の概要	犯罪の防止及び交通安全対策に努め、住民意識の高揚を図ることにより、安心で安全なまちづくりを推進するため、セーフティステーションに職員を配置し、防犯や交通安全に関する相談・指導などの窓口対応及び青色回転灯付きパトロールカーでのパトロールを行う。また、子どもを巻き込む犯罪を防止するため、下校時間帯を中心に学校、公園の周辺及び通学路を青色回転灯付きパトロールカーで、防犯広報を行いながら市内パトロールを行う。 ・セーフティステーション事業 開所：月水金 午前10時～午後10時、火木土日祝日 午後1時～午後10時、年末年始を除く361日間。 ・防犯パトロール事業 セーフティパトロール(午後1時～午後10時の間に昼間・夜間の2回、市内を3地区に分け、セーフティパトロールカーにて巡回)及び、セーフティパトロール(子ども)(平日概ね午後2時から4時過ぎまで(下校時間帯)に、市内を3地区に分け、セーフティパトロールカーにて巡回)を実施。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載) 日進市ひまわりステーション：赤池駅前 H17.4～、日進駅前 H18.11～、月13～21時、火～金14～21時、 (他に市役所内勤及びパトロール担当で1名) 警察官OB3名で青パト3台 みよし市安心ステーション：H22.11～、9～17時、土日祝・12/29～1/3休、 警察官OBを含む3名を交通防犯指導員として配置。青パト1台 幸田町地域安全ステーション：H20.4～ 平日7～17時、青パト1台		
	総事業費(単位：千円) H24予算 12,723 H24決算 12,502 H25予算 16,561 H25決算 16,269 H26予算 15,003 うち 一般財源 12,723 12,502 16,561 16,269 15,003 国費・県費 地方債 その他 受益者負担額	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討					
事業期間	事業開始年度	平成17年度	終了(予定)年度	-			
事業の対象(だれ、何に対して)	全市民						
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	住民の防犯・交通安全意識の向上。児童が街頭犯罪に巻き込まれるのを防ぐ。						

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位：千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)	H24実績	H25実績			単位	成果指標の目標値設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳(単位：千円)	評価	評価の説明		
										H25目標値	H25予算				H25決算	事業規模
① セーフティステーション事業	全市民に	4月～7月～10月～1月～	セーフティステーションを開所し、相談・指導などの業務を行うことで	住民の防犯・交通安全意識の向上を図る。	相談受付・指示事項等延べ件数1,725件(ステーション98件、パトロール1,627件)	刑法犯の犯罪発生状況	962	885	件	県下で大幅に減少した前年実績(平成24年：962件)から1%の減少	12,723	12,502	16,561	16,269	A	パトロールを中心に職員配置を取っているが、警察官OBとしてのスキルを多方面に活用し、交通安全教室、防犯講習会等の事業への積極的な登用や防犯ボランティア団体活動等へ積極的に参加、指導・助言を行う。
② 防犯パトロール事業	全市民に	4月～7月～10月～1月～	セーフティパトロール及び、子ども安全パトロールを実施することで	市内の街頭犯罪の防止及び児童が街頭犯罪に巻き込まれるのを防ぐ。	パトロール実施日数年361日、子ども安全パトロール実施日数 年218日	刑法犯の犯罪発生状況	962	885	件	県下で大幅に減少した前年実績(平成24年：962件)から1%の減少	※上記に含む	※上記に含む	※上記に含む	※上記に含む	A	パトロールを中心に職員配置を取っているが、警察官OBとしてのスキルを多方面に活用し、交通安全教室、防犯講習会等の事業への積極的な登用や防犯ボランティア団体活動等へ積極的に参加、指導・助言を行う。
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要